# 安全データシート

Copyright,2024, 3M Company.All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および／またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。（１）3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。（２）本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

| | | | |
|---|---|---|---|
| **SDS番号** | 31-9671-4 | **版** | 6.01 |
| **発行日** | 2024/04/24 | **前発行日** | 2023/10/23 |

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

## 1. 化学品及び会社情報

### 1.1. 化学品の名称
3M™ フィネッセ・イット™ ポリッシュ エクストラファイン

### 1.2. 推奨用途及び使用上の制限

**推奨用途**
研磨材製品

### 1.3. 会社情報

| | |
|---|---|
| **供給者** | スリーエム ジャパン株式会社 |
| **所在地** | 本社　東京都品川区北品川6-7-29 |
| **担当部門** | 研磨材技術部 |
| **電話番号** | 042-779-7995 |

## 2. 危険有害性の要約

**GHS分類**
水生環境有害性 短期（急性）： 区分３
水生環境有害性 長期（慢性）： 区分３

**GHSラベル要素**
**注意喚起語**
適用しない。

**シンボル**
適用しない。

**ピクトグラム**
適用しない。

**危険有害性情報**

H412　　長期継続的影響により水生生物に有害

**注意書き**

**安全対策**
P273　　環境への放出を避けること。

**廃棄**
P501　　内容物／容器を国際，国，都道府県，市町村の規則に従って廃棄すること。

**その他の有害性**
製品の粘度により、誤えん有害性の区分は適用しない。

## 3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

| 成分 | CAS番号 | 重量% |
|---|---|---|
| 水 | 7732-18-5 | 60 - 80 |
| 酸化アルミニウム | 1344-28-1 | 5 - 10 |
| 石油精製物 | 64742-14-9 | 7.0 |
| 水素化重質石油ナフサ | 64742-48-9 | 7.0 |
| 水素化軽質石油留分 | 64742-47-8 | 7.0 |
| 鉱油 | 8042-47-5 | 1.3 |
| トリエタノールアミン | 102-71-6 | 0.85 |
| α-ヒドロ-ω-(ウンデシルオキシ)ポリ(オキシエチレン) | 34398-01-1 | 0.1 - 0.5 |

## 4. 応急措置

**応急措置**

**吸入した場合**
新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

**皮膚に付着した場合**
石鹸と水で洗浄する。症状が続く場合は医療機関を受診する。

**眼に入った場合**
ばく露がある場合、直ちに多量の水で眼を洗浄すること。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状や徴候が現れたら、医師の手当てを受けること。

**飲み込んだ場合**
口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

**予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状**
重大な症状や影響はない。 毒物学的影響に関する情報はセクション11を参照する。

**応急措置を要する者の保護に必要な注意事項**
適用しない。

## 5. 火災時の措置

**消火剤**
火災の場合： 消火するために水あるいは泡消火薬剤などの、通常の燃焼物質用の消火薬剤を使用すること。

**使ってはならない消火剤**
情報なし。

**特有の危険有害性**
本製品では予想されない。

**有害な分解物または副生成物**

| 物質 | 条件 |
|---|---|
| 炭化水素類 | 燃焼中 |
| 一酸化炭素 | 燃焼中 |
| 二酸化炭素 | 燃焼中 |
| 窒素酸化物 | 燃焼中 |

**消火作業者の保護**
ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

## 6. 漏出時の措置

**人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置**
区域から退避させること。　新鮮な空気でその場所を換気する。　大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。　物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

**環境に対する注意事項**
環境への放出を避けること。　大量の場合には、下水設備や水施設に流入すのを防止する為に、排水溝にカバーし、土手をつくる。

**封じ込め及び浄化の方法及び機材**
漏洩を止める。　ベントナイト、バーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。　吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関する有害性を有することに留意する。　漏洩した物質を出来る限り多く回収する。　密閉容器に収納する。　洗剤と水で残さを清浄にする。　容器を密封する。　回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

**取扱い**
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。　この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。　取扱後はよく洗うこと。　環境への放出を避けること。

**保管**

凍結させないこと。

## 8. ばく露防止及び保護措置

**管理項目**

**許容濃度及び管理濃度**
セクション３に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

| 成分 | CAS番号 | 政府機関 | 許容濃度または管理濃度 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| トリエタノールアミン | 102-71-6 | ACGIH | TWA：5mg/m3 | |
| 酸化アルミニウム | 1344-28-1 | JSOH OELs | TWA(総粉じんとして)(8時間):2 mg/m3;TWA(吸入性粉じんとして)(8時間):0.5 mg/m3 | |
| 不溶性アルミニウム、化合物 | 1344-28-1 | ACGIH | TWA（吸入性分画）：1mg/m3 | A4：ヒトに対して発がん性物質として分類できない物質 |
| 不活性あるいは有害なダスト | 1344-28-1 | ISHL | TLV（計算値）（ダストとして）（8時間）：0.025mg/m3 | 100%と仮定して計算 |
| オイルミスト、ミネラル | 8042-47-5 | JSOH OELs | TWA（ミストとして）（８時間）：3 mg/m3 | |

ACGIH ： American Conference of Governmental Industrial Hygienists
AIHA ： American Industrial Hygiene Association
ISHL ： 労働安全衛生法作業環境評価基準
ISHL(濃度基準値)： 労働安全衛生法厚生労働大臣が定める濃度の基準
JSOH OELs ： 日本産業衛生学会許容濃度
TWA：時間加重平均値
STEL: 短時間ばく露限界値
ppm: 百万分率
mg/m3:ミリグラム/立方メートル
CEIL: 天井値

**ばく露防止策**

**設備対策**
空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フューム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。

**保護具**

**眼の保護具**
特に必要としない。

**皮膚及び身体の保護具**
ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。　注: 保護性を高めるために樹脂ラミネートされた手袋にニトリルゴム製の手袋を重ねてもよい。
推奨される手袋の材質： 樹脂ラミネート。

**呼吸用保護具**

ばく露評価によって保護マスクが必要と判断される場合には、適切なものを使用する。ばく露評価結果に基づいて以下のものから保護マスクを選択する：
半面形もしくは全面形のろ過材付き有機ガス用防毒マスク

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

## 9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

| | |
|---|---|
| 外観 | 液体 |
| 物理的状態: | エマルジョン |
| 色 | 白色 |
| 臭い | わずかな溶剤臭 |
| 臭いの閾値 | *データはない。* |
| ｐＨ | *適用しない* |
| 融点・凝固点 | *適用しない* |
| 沸点，初留点及び沸騰範囲 | 100 ℃ |
| 引火点 | 引火点>93℃ |
| 蒸発速度 | *データはない。* |
| 引火性 | 適用しない |
| 燃焼点（下限） | *データはない。* |
| 燃焼点（上限） | *データはない。* |
| 蒸気圧 | 2,399.8 Pa［試験条件： 20 ℃ ］ |
| 蒸気密度/相対蒸気密度 | *データはない。* |
| 密度 | 0.96 - 0.99 g/ml |
| 比重 | 0.96 - 0.99 ［*参照基準：*水=1］ |
| 溶解度 | 中程度 |
| 溶解度（水以外） | *データはない。* |
| n-オクタノール/水分配係数 | *データはない。* |
| 発火点 | *データはない。* |
| 分解温度 | *データはない。* |
| 動粘度 | 16,410 mm2/sec |
| 揮発性有機化合物 | 20.8 重量%［*詳細：*計算値］ |
| 揮発分 | 70.7 重量%［*詳細：*水を含む計算値］ |
| 水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物（JIS－GHSの要求項目ではない） | 395 g/l［*詳細：*計算値］ |
| モル重量 | *データはない。* |

ナノパーティクル
この製品はナノパーティクルを含有しない。

| | |
|---|---|
| 粒子特性 | *適用しない* |

## 10. 安定性及び反応性

**反応性**
この物質は、通常の使用条件下では、非反応性であると考えられる。

**化学的安定性**
安定。

**危険有害反応の可能性**
有害な重合反応は起こらない。

**避けるべき条件**
知見はない。

**混触危険物質**
知見はない。

**危険有害な分解物**

| 物質 | 条件 |
|---|---|
| 知見はない。 | |

セクション５の燃焼中の有害な分解物を参照

## 11. 有害性情報

**セクション２で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。　また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。**

**毒性学的影響に関する情報**

**ばく露による症状**

**組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。**

**吸入した場合**
気道刺激： 咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みなどの症状。

**皮膚に付着した場合**
軽度の皮膚刺激：局所的な発赤、腫脹、かゆみ、乾燥などの症状。

**眼に入った場合**
製品使用中に眼に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。

**飲み込んだ場合**
胃腸への刺激： 腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。

**毒性データ**
セクション３に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデ

ータが無いか、分類するに十分なデータが無い場合になります。

急性毒性

| 名称 | 経路 | 生物種 | 値又は判定結果 |
|---|---|---|---|
| 製品全体 | 吸入－蒸気 (4 時間) | | 利用できるデータが無い：ATEで計算。50 mg/l |
| 製品全体 | 経口摂取 | | 利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg |
| 水素化重質石油ナフサ | 経口摂取 | ラット | LD50 > 5,000 mg/kg |
| 水素化重質石油ナフサ | 皮膚 | 類似化合物 | LD50 > 5,000 mg/kg |
| 石油精製物 | 経口摂取 | ラット | LD50 > 15,000 mg/kg |
| 水素化軽質石油留分 | 吸入－粉塵/ミスト (4 時間) | ラット | LC50 > 5.4 mg/l |
| 石油精製物 | 皮膚 | 類似化合物 | LD50 > 5,000 mg/kg |
| 水素化軽質石油留分 | 皮膚 | 類似化合物 | LD50 > 5,000 mg/kg |
| 水素化軽質石油留分 | 経口摂取 | 類似化合物 | LD50 > 5,000 mg/kg |
| 酸化アルミニウム | 皮膚 | | LD50 推定値＞ 5,000 mg/kg |
| 酸化アルミニウム | 吸入－粉塵/ミスト (4 時間) | ラット | LC50 > 2.3 mg/l |
| 酸化アルミニウム | 経口摂取 | ラット | LD50 > 5,000 mg/kg |
| 鉱油 | 皮膚 | ウサギ | LD50 > 2,000 mg/kg |
| 鉱油 | 経口摂取 | ラット | LD50 > 5,000 mg/kg |
| トリエタノールアミン | 皮膚 | ウサギ | LD50 > 2,000 mg/kg |
| トリエタノールアミン | 経口摂取 | ラット | LD50 9,000 mg/kg |
| α-ヒドロ-ω-(ウンデシルオキシ)ポリ(オキシエチレン) | 皮膚 | ウサギ | LD50 > 2,000 mg/kg |
| α-ヒドロ-ω-(ウンデシルオキシ)ポリ(オキシエチレン) | 経口摂取 | ラット | LD50 > 700 mg/kg |

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性／刺激性

| 名称 | 生物種 | 値又は判定結果 |
|---|---|---|
| 水素化重質石油ナフサ | 類似化合物 | 軽度の刺激 |
| 石油精製物 | 類似化合物 | 軽度の刺激 |
| 水素化軽質石油留分 | 類似化合物 | 軽度の刺激 |
| 酸化アルミニウム | ウサギ | 刺激性なし |
| 鉱油 | ウサギ | 刺激性なし |
| トリエタノールアミン | ウサギ | わずかな刺激 |
| α-ヒドロ-ω-(ウンデシルオキシ)ポリ(オキシエチレン) | 類似健康有害性 | 刺激物 |

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

| 名称 | 生物種 | 値又は判定結果 |
|---|---|---|
| 水素化重質石油ナフサ | 類似化合物 | 刺激性なし |
| 石油精製物 | 類似化合物 | 刺激性なし |

| | | |
|---|---|---|
| 水素化軽質石油留分 | 類似化合物 | 刺激性なし |
| 酸化アルミニウム | ウサギ | 刺激性なし |
| 鉱油 | ウサギ | 軽度の刺激 |
| トリエタノールアミン | ウサギ | 軽度の刺激 |
| α-ヒドロ-ω-(ウンデシルオキシ)ポリ(オキシエチレン) | 専門家による判断 | 腐食性 |

## 呼吸器感作性または皮膚感作性

### 皮膚感作性

| 名称 | 生物種 | 値又は判定結果 |
|---|---|---|
| 水素化重質石油ナフサ | 類似化合物 | 区分に該当しない。 |
| 石油精製物 | 類似化合物 | 区分に該当しない。 |
| 水素化軽質石油留分 | 類似化合物 | 区分に該当しない。 |
| 鉱油 | モルモット | 区分に該当しない。 |
| トリエタノールアミン | ヒト | 区分に該当しない。 |

### 呼吸器感作性

セクション３に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

### 生殖細胞変異原性

| 名称 | 経路 | 値又は判定結果 |
|---|---|---|
| 水素化重質石油ナフサ | In vitro | 変異原性なし |
| 石油精製物 | In vitro | 変異原性なし |
| 水素化軽質石油留分 | In vitro | 変異原性なし |
| 酸化アルミニウム | In vitro | 変異原性なし |
| 鉱油 | In vitro | 変異原性なし |
| トリエタノールアミン | In vitro | 変異原性なし |
| トリエタノールアミン | In vivo | 変異原性なし |

### 発がん性

| 名称 | 経路 | 生物種 | 値又は判定結果 |
|---|---|---|---|
| 酸化アルミニウム | 吸入した場合 | ラット | 発がん性なし |
| 鉱油 | 皮膚 | マウス | 発がん性なし |
| 鉱油 | 吸入した場合 | 多種類の動物種 | 発がん性なし |
| トリエタノールアミン | 皮膚 | 多種類の動物種 | 発がん性なし |
| トリエタノールアミン | 経口摂取 | マウス | 陽性データはあるが、分類には不十分。 |

### 生殖毒性

### 生殖発生影響

| 名称 | 経路 | 値又は判定結果 | 生物種 | 試験結果 | ばく露期間 |
|---|---|---|---|---|---|

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 鉱油 | 経口摂取 | 雌について生殖毒性は区分に該当しない。 | ラット | NOAEL 4,350 mg/kg/日 | 13 週 |
| 鉱油 | 経口摂取 | 雄について生殖毒性は区分に該当しない。 | ラット | NOAEL 4,350 mg/kg/日 | 13 週 |
| 鉱油 | 経口摂取 | 発生毒性区分に該当しない。 | ラット | NOAEL 4,350 mg/kg/日 | 妊娠期間中 |
| トリエタノールアミン | 経口摂取 | 発生毒性区分に該当しない。 | マウス | NOAEL 1,125 mg/kg/日 | 器官発生期 |

## 標的臓器

### 特定標的臓器毒性、単回ばく露

| 名称 | 経路 | 標的臓器 | 値又は判定結果 | 生物種 | 試験結果 | ばく露期間 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 水素化重質石油ナフサ | 吸入した場合 | 中枢神経系の抑制 | 眠気又はめまいのおそれ。 | 類似化合物 | NOAEL 非該当 | |
| 水素化重質石油ナフサ | 吸入した場合 | 呼吸器への刺激 | 陽性データはあるが、分類には不十分。 | 類似健康有害性 | NOAEL 非該当 | |
| 石油精製物 | 吸入した場合 | 呼吸器への刺激 | 陽性データはあるが、分類には不十分。 | 類似健康有害性 | NOAEL 非該当 | |
| α-ヒドロ-ω-(ウンデシルオキシ)ポリ(オキシエチレン) | 吸入した場合 | 呼吸器への刺激 | 呼吸器への刺激のおそれ。 | 類似健康有害性 | NOAEL 非該当 | |

### 特定標的臓器毒性、反復ばく露

| 名称 | 経路 | 標的臓器 | 値又は判定結果 | 生物種 | 試験結果 | ばく露期間 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 水素化重質石油ナフサ | 吸入した場合 | 肝臓 \| 腎臓および膀胱 \| 内分泌系 \| 消化管 \| 骨、歯、爪及び/又は毛髪 \| 造血器系 \| 筋肉 \| 神経系 \| 呼吸器系 \| 脈管系 | 区分に該当しない。 | ラット | NOAEL 6 mg/l | 13 週 |
| 石油精製物 | 吸入した場合 | 肝臓 | 区分に該当しない。 | ラット | NOAEL 6 mg/l | 13 週 |
| 石油精製物 | 吸入した場合 | 腎臓および膀胱 | 区分に該当しない。 | ラット | LOAEL 1.5 mg/l | 13 週 |
| 石油精製物 | 吸入した場合 | 造血器系 | 区分に該当しない。 | ラット | NOAEL 6 mg/l | 13 週 |
| 石油精製物 | 経口摂取 | 肝臓 | 区分に該当しない。 | ラット | NOAEL 1,000 mg/kg/day | 13 週 |
| 石油精製物 | 経口摂取 | 腎臓および膀胱 | 区分に該当しない。 | ラット | LOAEL 100 mg/kg/day | 13 週 |
| 石油精製物 | 経口摂取 | 造血器系 \| 眼 | 区分に該当しない。 | ラット | NOAEL 1,000 mg/kg/day | 13 週 |
| 酸化アルミニウム | 吸入した場合 | 塵肺症 | 陽性データはあるが、分類には不十分。 | ヒト | NOAEL 非該当 | 職業性被ばく |
| 酸化アルミニウム | 吸入した場合 | 肺線維症 | 区分に該当しない。 | ヒト | NOAEL 非該当 | 職業性被ばく |
| 鉱油 | 経口摂取 | 造血器系 | 区分に該当しない。 | ラット | NOAEL 1,381 mg/kg/day | 90 日 |
| 鉱油 | 経口摂取 | 肝臓 \| 免疫システム | 区分に該当しない。 | ラット | NOAEL 1,336 mg/kg/day | 90 日 |
| トリエタノールアミン | 皮膚 | 腎臓および膀胱 | 区分に該当しない。 | 多種類の動物種 | NOAEL 2,000 mg/kg/day | 2 年 |
| トリエタノールアミン | 皮膚 | 肝臓 | 区分に該当しない。 | マウス | NOAEL 4,000 | 13 週 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | mg/kg/day | |
| トリエタノールアミン | 経口摂取 | 腎臓および膀胱 | 陽性データはあるが、分類には不十分。 | ラット | LOAEL 1,000 mg/kg/day | 2 年 |
| トリエタノールアミン | 経口摂取 | 肝臓 | 区分に該当しない。 | モルモット | NOAEL 1,600 mg/kg/day | 24 週 |

誤えん有害性

| 名称 | 値又は判定結果 |
|---|---|
| 水素化重質石油ナフサ | 誤えん有害性 |
| 石油精製物 | 誤えん有害性 |
| 水素化軽質石油留分 | 誤えん有害性 |
| 鉱油 | 誤えん有害性 |

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの１ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

## 12. 環境影響情報

セクション２で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。　セクション２の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）
ＧＨＳ水生環境有害性（急性）区分３：水生生物に有害。

水生環境有害性 長期（慢性）
ＧＨＳ水生環境有害性 長期（慢性）区分３：長期継続的影響によって水生生物に有害。

製品での試験データは無い。

| 材料 | CAS番号 | 生物種 | 種類 | ばく露 | テストエンドポイント | 試験結果 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 酸化アルミニウム | 1344-28-1 | 魚 | 実験 | 96 時間 | LC50 | >100 mg/l |
| 酸化アルミニウム | 1344-28-1 | 緑藻類 | 実験 | 72 時間 | EC50 | >100 mg/l |
| 酸化アルミニウム | 1344-28-1 | ミジンコ | 実験 | 48 時間 | LC50 | >100 mg/l |
| 酸化アルミニウム | 1344-28-1 | 緑藻類 | 実験 | 72 時間 | NOEC | >100 mg/l |
| α-ヒドロ-ω-(ウンデシルオキシ)ポリ(オキシエチレン) | 34398-01-1 | 緑藻類 | 類似コンパウンド | 72 時間 | ErC50 | 0.43 mg/l |
| α-ヒドロ-ω-(ウンデシ | 34398-01-1 | 緑藻類 | 類似コンパウンド | 72 時間 | NOEC | 0.09 mg/l |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ルオキシ)ポリ(オキシエチレン) | | | | | | |
| 石油精製物 | 64742-14-9 | 緑藻類 | 推定値 | 72 時間 | EL50 | >1,000 mg/l |
| 石油精製物 | 64742-14-9 | ニジマス | 推定値 | 96 時間 | LL50 | >1,000 mg/l |
| 石油精製物 | 64742-14-9 | ミジンコ | 推定値 | 48 時間 | EL50 | >1,000 mg/l |
| 石油精製物 | 64742-14-9 | 緑藻類 | 推定値 | 72 時間 | NOEL | >1,000 mg/l |
| 水素化重質石油ナフサ | 64742-48-9 | 緑藻類 | 実験 | 72 時間 | EL50 | >1,000 mg/l |
| 水素化重質石油ナフサ | 64742-48-9 | ニジマス | 実験 | 96 時間 | LL50 | >1,000 mg/l |
| 水素化重質石油ナフサ | 64742-48-9 | ミジンコ | 実験 | 48 時間 | EL50 | >1,000 mg/l |
| 水素化重質石油ナフサ | 64742-48-9 | 緑藻類 | 実験 | 72 時間 | NOEL | 100 mg/l |
| 水素化軽質石油留分 | 64742-47-8 | 緑藻類 | 類似コンパウンド | 72 時間 | EL50 | >1,000 mg/l |
| 水素化軽質石油留分 | 64742-47-8 | ミジンコ | 類似コンパウンド | 48 時間 | EL50 | >1,000 mg/l |
| 水素化軽質石油留分 | 64742-47-8 | ニジマス | 実験 | 96 時間 | LL50 | >788,000 mg/l |
| 水素化軽質石油留分 | 64742-47-8 | ヨコエビ | 実験 | 96 時間 | LL50 | >10,000 mg/l |
| 水素化軽質石油留分 | 64742-47-8 | 緑藻類 | 類似コンパウンド | 72 時間 | NOEL | 1,000 mg/l |
| 水素化軽質石油留分 | 64742-47-8 | ミジンコ | 類似コンパウンド | 21 日 | NOEL | >1 mg/l |
| 鉱油 | 8042-47-5 | ミジンコ | 類似コンパウンド | 48 時間 | EL50 | >100 mg/l |
| 鉱油 | 8042-47-5 | ブルーギル | 実験 | 96 時間 | LL50 | >100 mg/l |
| 鉱油 | 8042-47-5 | 緑藻類 | 類似コンパウンド | 72 時間 | NOEL | 100 mg/l |
| 鉱油 | 8042-47-5 | ミジンコ | 類似コンパウンド | 21 日 | NOEL | >100 mg/l |
| トリエタノールアミン | 102-71-6 | 液状化 | 実験 | 3 時間 | IC50 | >1,000 mg/l |
| トリエタノールアミン | 102-71-6 | ファットヘッドミノウ（魚） | 実験 | 96 時間 | LC50 | 11,800 mg/l |
| トリエタノールアミン | 102-71-6 | 緑藻類 | 実験 | 72 時間 | ErC50 | 512 mg/l |
| トリエタノールアミン | 102-71-6 | ミジンコ | 実験 | 48 時間 | EC50 | 609.98 mg/l |
| トリエタノールアミン | 102-71-6 | 緑藻類 | 実験 | 72 時間 | ErC10 | 26 mg/l |
| トリエタノールアミン | 102-71-6 | ミジンコ | 実験 | 21 日 | NOEC | 16 mg/l |

残留性・分解性

| 材料 | CAS番号 | 試験の種類 | 期間 | 試験の種類 | 試験結果 | プロトコル |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 酸化アルミニウム | 1344-28-1 | データ不足 | 該当なし | 該当なし | 該当なし | 該当なし |
| α-ヒドロ-ω-(ウンデシルオキシ)ポリ(オキシエチレン) | 34398-01-1 | モデル 生分解性 | 28 日 | 二酸化炭素の発生 | 95 CO2発生量/理論CO2発生量% | Catalogic™ |
| 石油精製物 | 64742-14-9 | 推定値 生分解性 | 28 日 | 生物学的酸素要求量 | 69 %BOD/ThOD | OECD 301F |
| 水素化重質石油ナフサ | 64742-48-9 | 実験 生分解性 | 28 日 | 生物学的酸素要求量 | 80% %BOD/ThOD | OECD 301F |
| 水素化軽質石油留分 | 64742-47-8 | 実験 生分解性 | 28 日 | 生物学的酸素要求量 | 22 %BOD/ThOD | OECD 301F |
| 鉱油 | 8042-47-5 | 実験 生分解性 | 28 日 | 二酸化炭素の発生 | 0 CO2発生量/理論CO2発生量% | OECD 301B - 修正シュツルム試験又は二酸化炭素 |
| トリエタノールアミン | 102-71-6 | 実験 生分解性 | 19 日 | DOC（溶存有機炭素）残留量 | 96 DOC除去% | OECD 301E類似法 |

生体蓄積性

| 材料 | CAS番号 | 試験の種類 | 期間 | 試験の種類 | 試験結果 | プロトコル |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 酸化アルミニウム | 1344-28-1 | 分類にデータが利用できない、あるいは不足している。 | 該当なし | 該当なし | 該当なし | 該当なし |
| α-ヒドロ-ω-(ウンデシルオキシ)ポリ(オキシエチレン) | 34398-01-1 | モデル 生態濃縮 | | 生物濃縮係数 | 50 | Catalogic™ |
| 石油精製物 | 64742-14-9 | 分類にデータが利用できない、あるいは不足している。 | 該当なし | 該当なし | 該当なし | 該当なし |
| 水素化重質石油ナフサ | 64742-48-9 | 分類にデータが利用できない、あるいは不足している。 | 該当なし | 該当なし | 該当なし | 該当なし |
| 水素化軽質石油留分 | 64742-47-8 | 分類にデータが利用できない、あるい | 該当なし | 該当なし | 該当なし | 該当なし |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | は不足している。 | | | | |
| 鉱油 | 8042-47-5 | 分類にデータが利用できない、あるいは不足している。 | 該当なし | 該当なし | 該当なし | 該当なし |
| トリエタノールアミン | 102-71-6 | 実験 BCF - 魚 | 42 日 | 生物濃縮係数 | <3.9 | OECD 305類似法 |

**土壌中の移動性**
データはない。

**オゾン層への有害性**
データはない。

## 13. 廃棄上の注意

**廃棄方法**
関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

## 14. 輸送上の注意

**国内規制がある場合の規制情報**
船舶及び航空輸送上の危険物には該当しない。（国際連合危険物に該当しない）　取扱い及び保管上の注意欄に述べられている一般的注意に従ってください。

## 15. 適用法令

**国内法規制及び関連情報**

**日本国内法規制（主な適用法令）**

労働安全衛生法：危険性又は有害性等を調査(リスクアセスメント)すべき物（法第 57 条の３）
労働安全衛生法：施行令１８条の２　名称等を通知すべき有害物
労働安全衛生法：施行令１８条有害物質（表示物質）
労働安全衛生法：施行令別表第６の２ 有機溶剤
消防法：指定可燃物（可燃性液体類）
本製品に含まれる石油留分(鉱油等)は令和4年厚生労働省告示第371号のがん原性物質に該当しない

**主な法規制物質**

**労働安全衛生法：通知・リスクアセスメント・表示義務対象物質**

| 成分 | 法律又は政令名称 | 2025年3月31日迄 | 2025年4月1日以降<br>2026年3月31日迄 | 2026年4月1日以降 |
|---|---|---|---|---|
| 石油精製物 | 石油ナフサ | 該当 | 該当 | 該当 |
| 水素化重質石油ナフサ | ミネラルスピリット（ミネラルシンナー、ペトロリウムスピリ | 該当 | 該当 | 該当 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | ット、ホワイトスピリット及びミネラルターペンを含む。) | | | |
| 水素化軽質石油留分 | ミネラルスピリット（ミネラルシンナー、ペトロリウムスピリット、ホワイトスピリット及びミネラルターペンを含む。） | 該当 | 該当 | 該当 |
| 鉱油 | 鉱油 | 該当 | 該当 | 該当 |
| トリエタノールアミン | トリエタノールアミン | 該当 | 該当 | 該当 |

## 16. その他の情報

**改訂情報**

セクション１５：労働安全衛生法の表「2025年4月1日以降2026年3月31日迄」 情報の追加.
セクション１５：労働安全衛生法の表「2026年4月1日以降」 情報の追加.
セクション７：貯蔵情報 情報修正.
セクション８：OEL登録機関の説明 情報修正.
セクション９：燃焼性（固体、ガス)情報 情報の削除.
セクション９：引火性情報 情報の追加.
セクション９：動粘度情報 情報の追加.
セクション９：粒子特性　適用しない 情報の追加.
セクション９：粘度 情報の削除.
セクション１１：急性毒性の表 情報修正.
セクション１１：発がん性の表 情報修正.
セクション１１：生殖胞変異原性の表 情報修正.
セクション１１：生殖毒性の表 情報修正.
セクション１１：重篤な眼へのダメージ/刺激の表 情報修正.
セクション１１：皮膚腐食性/刺激性の表 情報修正.
セクション１１：皮膚感作性の表 情報修正.
セクション１１：標的臓器 - 反復ばく露の表 情報修正.
セクション１１：標的臓器 - 単回ばく露の表 情報修正.
セクション１２：成分生態毒性情報 情報修正.
セクション１５：労働安全衛生法の表 情報修正.

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

**３MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。**